

ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会 会報
第34号 令和3年12月1日
発行 長岡京吟詠会
会長 本庄賀秀峰

臨時役員総会で改革案が承認されました！！

去る11月21日に臨時役員総会が開催され、改革案が承認されました。主な改革点は、「師範会」に代わり「連絡会」を新設する。また若手会員の意見を吸い上げる「運営会」を新設する。そして、理事を廃止して役員（理事）総会を全員参加型の会員総会とする。という内容で、令和4年度から採用されます。

第1回の会員総会は、2月27日に予定されています
(事務局)

会の運営に皆さんの積極的なご協力を！！

新年度より改革案によって会の運営や活動が始まります。改革の趣旨に沿ってスムーズに取り組みを進めるためには多くの会員さんの協力が必要です。全員で荷を分かち合い、自分に出来ることで積極的なご協力をお願いします。

本庄賀秀峰

訃報

西村隆宏さん（賀秀恕、秀邦）が、11月3日ご逝去されました。お通夜と告別式は家族葬で執り行われました。会よりご供花をさせて頂きました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

友との別れ

長谷川賀秀功

長年、教壇に立たれ教え子も多数世に出された西村賀秀恕先生の訃報を横山賀秀邦先生から聞き悲しみが込み上げてきます。

西村賀秀恕先生は、横山賀秀邦先生が視聴覚障害者のボランティアに行き住まれ、視聴覚障害者を送り迎えされていた時に、横山賀秀邦先生の勧めで詩吟を始められ、どんどん実力を発揮され、初めての大会で見事優勝の栄冠を勝ち取られました。

その頃より、少し体の調子を悪くされましたが、各大会、文化祭他多数の大会に私も一緒に出させて頂きました。私は、これからも色々とお指導頂くつもりでしたが大変残念です。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

故 千阪先生の旧著「漢土故事物語」を解説 (12)

じんかんさいおう

人間塞翁が馬

小林賀清風

へんさい
邊塞（辺境）の人で吉凶判断の術を善くする者があった。ある日、其の家の馬が逃げて帰らない。どうしよう。塞翁は平然として、心配はいりません。この事が亦どんな幸福をもたらすか解りませんからね。その後、数か月して逃げた馬が胡の地の名馬を伴って帰って来た。人々はお祝いを述べるが、塞翁は、これがどんな禍を為すかしれません、といって平然。その家は良馬に富み、其の子は騎馬を好んでるうちに落馬し骨を折った。それから1年後、戦争のため頑健な男子はすべて兵役につくことになりましたが、骨折していた老人の息子は徴兵を免れ、親子ともども命拾いしました。かくの如く福がかえって禍となり、禍がかえって福となる。その変化を極めつくすことが出来ない。人生愉快に、意を決し是非の判断に任せて謳歌したいものです。

昇格のお知らせ

この度11月1日付で、高橋賀秀正先生が宗範に昇格されました。

今後共長岡京吟詠会の発展と会員の吟詠力向上のため、ご指導・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

師範代昇格のお二人の雅号決定

これからは、雅号でもよろしくお願いします。

櫻澤 茂 さん（長①）賀秀櫻（がしゅうおう）

田中 浩一さん（長①）賀秀浩（がしゅうこう）

令和4年度

全国吟詠コンクール（財団）指定吟題 決定

【青年の部・一般の部】

- | | | |
|----------|-------|-------------|
| ① 生田に宿す | 菅茶山 | （かん ちゃさん） |
| ② 春 暁 | 日柳燕石 | （くさなぎ えんせき） |
| ③ 出郷の作 | 佐野竹之助 | |
| ④ 蘇台覽古 | 李白 | |
| ⑤ 秋 思 | 劉禹錫 | （りゅう うしやく） |
| ⑥ 望湖樓醉書 | 蘇軾 | （そしやく） |
| ⑦ 応制天の橋立 | 釈希世 | （しゃく きせい） |
| ⑧ 書 懷 | 篠原国幹 | （しのはら くにもと） |
| ⑨ 八陣の図 | 杜甫 | |
| ⑩ 漢 江 | 杜牧 | |

【幼年・少年の部】 昨年度と同じです。

R3/12月・R4/1月の予定



長法寺の山茶花

長岡京吟詠会

12月 1日(水) 14:00 師範会 公民館講座室
 12月 15日(水) 14:00 師範会 公民館講座室
 12月 22日(水) 14:00 執行部会 産文 2F 第1会議室

<新年から新体制で活動します:週・時間にご注意下さい>

1月 5日(水) 13:00 企画・研修部会 公民館講座室
 1月 5日(水) 14:45 連絡会 公民館講座室
 1月 12日(水) 14:00 執行部会 公民館学習1
 1月 19日(水) 14:00 運営会 公民館視聴覚室
 1月 19日(水) 14:45 連絡会 公民館視聴覚室

詩吟と私

総師範 金谷賀秀智 (秀美クラブ)



詩吟との出会い、初期を振り返って見ますと、家業に追われ無趣味な私が、何か自分の時間を持ちたいと思っていた頃、たまたま、伯母が詩吟を教えていたことも有って、『漢詩の勉強も出来るし、又大声を出して、ストレスの解消にも役立つ』と、誘われたのが詩吟の道の始まりです。初めての大会で運良く優勝させて頂き、何か弾みがついて、寝る間も惜しんで、お稽古に励んだことが懐かしく思い出されます。府連、財団にと幾度か出させていただくうち、詩吟の奥深さ、昔人の偉大さなど、当時に思いを馳せることが出来、一時の安らぎを感じることがありました。今では、私なりに、漢詩の心が読み取れる様になり、今度は、改めて難しさが、のしかかって来ました。師範代を頂いたのを切っ掛けに(秀美詩吟クラブ)を持つ様になり、今度は教える立場となり、尚一層の精進を余儀なくされ一からの勉強のやり直し、基本的な指導方法、音程、符節、アクセント、そして練習、コンダクター、CDなど。。。でも、私にとって、何よりの楽しみになり、生きがいになって来ました。指導者級に合格と同時に、府連の審査員となり、80歳定年まで15年間審査委員として勉強させていただきました。両親と主人の介護、そして見届け、送った後は、自分の病、癌と戦い乍ら、明るく前向きに生きられたのは詩吟があったからこそ、乗り越えられたと思います。現在コロナ禍の中、お弟子さんの昇格試験のお陰で、お褒めが出来て少しは頭も活性化して良い頭の体操ができ、気持ちだけは明るく、楽しく生きることがモットーに老いに鞭打ち頑張っています。少しでも、会の発展のために役立てばよいのですが、師範会では最高齢者の私では役立たず、迷惑を掛けたくない様に若い方旁に吟詠の未来発展を託して〈枯れ木も山のにぎわい〉で、余生を送りたいと思います。

私の職場

ロベルトバルボン選手 横山賀秀邦

勤め始めて5ヶ月くらいの時、勤務を終え地下二階の事務所から地上出口へ。『オチャ ノミニ イキマセンカ!!』いきなり、黒人の方に声を掛けられ、慌てて地下へ。上役に帰れないと言うと『よっしゃよっしゃ、付いて上がったるわ』と言って地上まで同行。何かしゃべっておられました。後で、『あの人ブレーブスのバルボン選手やで』。ブレーブスもやっと覚えたところで、選手のことなどちんぷんかんぷんの私です。でも球団のパーティーがあると、顔と名前を覚えようと会場の隅っこで見ていました。梶本、山田、長池等々。懐かしい話です。かつての岡本健一郎選手とは、一緒に働いていました。

シリーズ「吟道と剣道」その23

【一生もの】 長尾賀秀剣

人はそれぞれに、気に入っているもの、優れたもの、長く役に立つものなどを自分の「一生もの」と言って、一生大切にします。私は以前に「継続は宝なり」すなわち吟道や剣道を続けることで自分だけの独自の宝が自分の中に創られると書きました。まさにこの「宝」がその人の「一生もの」として生涯を共にし、自分をさらに磨き豊かにする原動力となるのではないのでしょうか。そして、吟道も剣道もそれに相応しい道だと思っています。我が長岡京吟詠会が高齢者でベテランの方が多いので皆さん将に吟を「一生もの」として大切に楽しんでおられることでしょう。会の貴重な若い方よ、山や谷があってもくじけず是非継続して頂いて、吟道が自分の「一生もの」となることを目指して励み楽しんでください。そして、吟道を広めてください。

名簿作成にご協力をお願いします!!

令和4年度の会員名簿作成の準備をしています。クラブ毎に点検をして頂いています。また、顧問、特別賛助会員、賛助会員のお願いの取り組みも進めています。いずれも12月15日の師範会が締め切りです。皆さんのご協力をお願いします。(事務局)

今年もコロナ感染防止対策のため活動が大きく制限や縮小されましたが、皆さまのご協力で「ぎんまい長岡京」を毎月発行することが出来ました。有難うございました。来年もよろしくお願い申し上げます。編集室より

『ぎんまい長岡京』編集室

長尾賀秀剣 西本 章

※連絡先 長尾賀秀剣

Tel: 090-9095-3751

Email: knagao69@gmail.com

